

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網450-6 ユアサビル2階
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：小高 徹 幹事：高山 義則
- 広報・公共イメージ向上委員会
委員長 高野 祐二・会報担当 石田 英世

2023年2月15日(水)
第24巻第26号

通巻第1013号

<http://www.oamirotary.com>
E-mail: rc@oamirotary.com



本日の例会

点 鐘 会長 小高 徹
ソング 手に手つないで
会長挨拶 会長 小高 徹
幹事報告 幹事 高山 義則
プログラム

卓話 東金市 市東 弥寿雄 様
「ロータリーと小麦「鶴嶺」との出会い」

ニコニコBOX

四之宮 由己 会員
お誕生日祝い、有難うございました。
小高 徹 会長
3クラブ合同ゴルフコンペ参加致しました。ニアピン賞頂きました。
パーティー取りました。ニコニコです。
石田 英世 会員
月、火、2日間のゴルフ、体調不良でしたが、皆様のお陰で完走出来ました。
高野 祐二 会員
3クラブコンペで優勝しました。
ニコニコです。

例会日	2月8日	1月25日
会員数	31	31
出席	18	16
欠席	13	15
M U	0	0
免除	5	8
出席率	74.19%	77.42%

会長挨拶

小高 徹 会長



皆さん、こんにちは。
本日は、古山豊先生をお迎えしての例会となります。
古山先生には「御宿町 メキシコ記念塔について」というお話をして頂きます。
宜しくお願ひ申し上げます。

先日の市制施行10周年記念の報告は、皆様方にお伝えした通りですが、本日のお客様であります、古山先生も、この度、教育文化の功労者としてご列席されており、私が座っていた前列にお座りになっていましたが、気付かず、当クラブが表彰されると古山先生から、「ロータリークラブさん」と先生の方からお声掛け頂きまして、大変恐縮した次第です。改めまして、教育文化功労表彰、おめでとうございます。これからもご活躍されます事をご祈念申し上げます。

さて、2月6日月曜日、3クラブ合同親睦ゴルフコンペがありました。ホストクラブは茂原中央ロータリークラブで、南茂原カントリークラブにて開催されました。参加者32名、当クラブからは6名参加し、表彰式では大変な盛り上がりの中、楽しい親睦交流が出来たと思います。3クラブ合同のゴルフコンペといえば、従来ですと大網ロータリークラブが参加者の半分以上を占めていた時期がありましたが、参加して頂きました皆様方には本当にご苦勞様でした。

本日2月8日は、私の第1子の誕生日となります。昨日電話いたしました「何歳になる？」と聞きますと「37歳になるよ」と、家内と一緒にしてから第1子を授かり37年もの月日が過ぎたのかと思うと、本当に早いものだなとつくづく思う次第です。そういう娘も今は、3女の娘の母親となり嫁ぎ先で幸せに暮している事を思うと親としては嬉しい限りと思っています。ちょっとプチ自慢いたしました。

以上で会長あいさつを終わります。ありがとうございました。

卓話

古山 豊 先生



「メキシコ塔」建立史話
—岩和田村民が救った異国人—

御宿の海に面した高台に、町のシンボルとして親しまれている高さ17.5mととても立派な塔、通称「メキシコ塔」が建立されております。
414年前（江戸幕府徳川の時代）に、郷土史、日本史、世界史が1本の線で結ばれる壮大な出来事がありました。

幹事報告

インターシティ・ミーティング開催

日時：2023年2月21日（火）
 点鐘 13：45 閉会 16：15 懇親会 16：30～
 場所：九十九里 ヴィラそとぼう
 <プログラム>
 13:15 受付開始
 13:45 開会点鐘
 14:00 RI・地区についての情報等
 14:40 パネルディスカッション及び質疑応答
 15:50 次年度ガバナー補佐及び各クラブ会長・幹事紹介
 16:15 閉会点鐘 16:30 懇親会
 *次期役員紹介・次期ガバナー補佐・会長・幹事をご紹介
 *各クラブバナー及び例会用名札を準備
 *クラブとしてパネラーへの質問1点
 大綱 RC 発表者：石田英世会員
 テーマ「ポリオ撲滅に対するロータリーの方向性」について
 <出席者>順不同
 小高会長、高山幹事、長谷川会員、星野会員、石田会員、泉 会員、西岡会員、小倉会員、大越会員（懇親会：欠）、齋藤（幸）、清宮（満）関谷会員、四之宮会員、高野会員、山岸会員、吉原会員
 I.M 出席者数 16名 懇親会出席者数 15名
 制服着用

お母さんの昔ばなし

長谷川会員奥様より、遠い昔の愛しき日々のひとこまを、愛を込めてお届けします。

2月28日（火）
 開会：13：00 開演：13：30
 会場：白里公民館講堂
 入場無料



<「文化協会だより」一部転載>

「いかけ屋のじいさん」

お母さんが、うーんと小さい頃はね、お鍋ややかんに穴が空くと、それを修理する人がいたの。その人をいかけ屋さんといいました。
 萬亀橋の少し手前の、三角畑の角のあたりに、いかけ屋の爺さん家がありました。家といっても、堀立小屋の片葺き屋根。丸太を立てて周りをトタンで囲い、ころばし縁といって、樹を並べた上に、床板を打ちつけてあるだけの粗末な小屋でした。
 ひとり暮らしの爺さんは、この家でこつこつと、いかけの仕事をしていました。
 「おはよう」と声をかけても、耳が悪くて聞こえないのか、返事もしないで、せっせと鍋などの修理をしていました。四角いコンロに炭火を赤々とおこし、その中に半田ごてが入っていました。この熱いこてのさき、鉛を少量つけて溶かし、鍋の穴をふさぐのです。一つ直して十円か、二十円でした。鍋ややかんは、こうして使えるようになるのです。
 何でも物を大切に使い、こうも傘などもこうも直しの人が回って来て、安く直して使いました。今は使い捨て時代とか、私達の小さい頃の話は、もう本当の昔話になったのかしらね。
 はじめにも述べましたが、これらは、遠い昔の愛しき日々のひとこまです。当時は、今よりも近所の人達ともさっぱりと隠し立てや遠慮のないざっくばらんな交流があったように思えます。戦後で、物がなく、生活は苦しかったけれど、人のやさしさ、あたたかさが感じられました。このことは、時代が変わっても大切なものだと強く思っています。



1609年9月30日、夜10時頃大型ガレオン船サン・フランシスコ号(約千トン)は岩礁に乗り上げ跡形もなく大破した。去る7月25日、フィリピンのマニラ湾を出帆した3隻の内1隻であります。
 当時フィリピンとノビスパン間の航路は、三陸沖まで北上し、太平洋の黒潮ルートに乗る航海が定着していました。外の2隻も途中暴風雨に遭い、サンタ・アナ号は豊後(現大分県)の臼杵沖で難波・漂着、サン・アンドレス号だけが風を乗り切って無事アカブルコへ帰着した。サン・フランシスコ号は、上総国岩和田村に漂着(現御宿町)、乗船員373名の内317人が救済され、56名が溺死しています。

御宿の地元民、漁民が懸命に救済し、冷え瀕死の状態であったスペイン人を肌で暖め助けたという逸話が残っています。



ロドリゴ一行は、大宮寺(現大宮神社)や岩和田等の民家に37日間という長期にわたって滞在しました。外国人の漂着は、ただちに領主の大多喜城主に報告されました。城は当時28歳の忠朝が守っていました。忠朝は徳川家康の四天王の1人とされる本多忠勝の次男であります。忠勝はこの時、長男忠政と共に西国の押さえとして桑名(城)に10万石を賜っていました。城内では、

大多喜城・本多家

初代 本多忠勝(63歳永眠)
 二代 次男忠朝(34歳で戦死)
 三代 政朝(長男忠政の子)、1617年龍野(兵庫県)に移封される。
大多喜城の本多家は3代28年で終わる。その後、松平氏が9代にわたって大多喜を治める。

後々面倒な問題へと発展しないようにと一行の処刑が話し合われていたが、忠朝は幕府の指示を仰ぐため家臣を江戸へ遣わしました。処刑を停止しておいた忠朝の判断は正しかった。漂着数日後、忠朝は300人ほどの家来を連れてロドリゴを訪問し、西洋式挨拶として彼の手にキスをしました。また衣類・刀・牛一頭・鶏数羽・果物・酒(日本酒)等を贈り、手厚く待遇した。処刑されることなく、むしろスペイン国に好意的な幕府であることを知ると共に、一行の37日間の食料や生活費すべてが本多家から供与されました。

サン・フランシスコ号の岩和田村漂着を発端に始まったこの一件は、11年後、支倉の帰国により終止符を打ち、明治初期まで深い眠りに就くことになった。

時が流れ、昭和53年11月、メキシコより国賓ボルテューリョ大統領の来町を期に、塔は3度目のお色直しが施された。この史実は千葉県にとって国際交流の先駆けと位置づけられるもので、地元民のみならず千葉県民にとっても忘れてはならない友愛と美徳を象徴する「塔」として輝きを放っている。そして、2009年9月末、御宿町で400周年記念祭が国際的規模で執り行われました。



2/6(月)開催 成田空港南・茂原中央・大網 3クラブ合同親睦ゴルフコンペ



南茂原カントリークラブ